



●PROFILE
前田 華郎 (まえだ・かろう)
医学博士。1933年2月14日生れ。1957年札幌医科大学卒業。ハワイ・クワキニ病院、札幌医科大学一般外科、横浜市立大学形成外科、東京女子医科大学(教授)を経て、1998年前田総合医学研究所を設立。専門分野の傍ら、自然療法の研究を進め2005年同研究所をアドバンス・クリニック横浜へ名称変更。
■一般社団法人癌活性消滅療法学会(<http://ceat.or.jp>)理事長、日本小児科学会評議員 ■著書『がん治療に苦痛と絶望はいらない』(講談社)、『がんになった医師が書いたがんの本当の治し方』(幻冬舎)、『がんは切らずに治る』(DHC)他多数。

— 見えないがんも発見出来る診断法? —
前田 いくら生活上注意しても、がんは防ぎようがありません。すべてのがんは見えない世界のスタートラインから始まって、約20年経過して通常のがん検診で発見されます。それでは実際遅すぎます。がんには見えないがんが見えるがんがあり、①見えないがんの中から見える癌腫が発生します。従って見える癌腫だけを切りとつても再発し、②見えない

がんの診断の重要性

マイクロ波照射で治療

— 治療法についてお聞かせください。 —

前田 がんはいかに高価な薬物でも完治は難しく、効果と副作用が背中合わせです。放射線の過剰照射や手術でリンパ節や正常の臓器を多めにとると、その後、残りの人生を辛い後遺症と共存して行かねばなりません。

活性化がん遺伝子を調べる

— 回復度は何を目安にされていますか? —

前田 治療は、ある程度進行したがん患者さんには、少しでも早くがんの活性を消滅させて、その人の自然治癒力にバトンタッチすることを目的としています。少しでも早く発見すれば、それだけ組織の損傷が少ないので早く回復できます。回復の目安は腫瘍マーカーや画像からではなく、「がんの本体」活性化し

注目の名医 49

●スペシャルインタビュー
Special Interview

17医療
ルネサンス

アドバンス・クリニック横浜

院長 前田 華郎 医師

自らのがん克服体験から辿り着いたCEAT(癌活性消滅療法)とは?

痛みも副作用もないマイクロ波照射が「がんのエネルギー」を消す

ところから見るところへ転移する「原発不明がん」は現代医学的診断法では発見できません。私は、生物学的共鳴反応を利用した探索で、がんがスタートラインに並んだときから、がんが死ぬまでの40〜50年間の全経過を把握しています。見えないがんを発見する技術を研究しなければ、がん医療に出口はありません。

これらを解消するために、正常人と同じ周波数であり、急速加熱でがんだけを選択しながら、後遺症なく消滅させるマイクロ波の研究を米・ペイラー医科大学との共同研究で確認しました。共鳴反応で発見したがんの部位に沿って、この治療を行うと、小さながんやリンパ節転移、原発不明がん、骨転移などにも見えないがんと共に有効に働きます。大きながんも、同様に行いリンパ節や見えないがんが改善してきたら、残った腫瘍は、手術またはサイバーナイフの専門医へ依頼しています。この間、患者さんの体調は改善し元氣を取り戻します。

たがん遺伝子の有無で決めるべきですが、現在のところ、それが可能なのは、私のところで研修を受けた認定医療施設だけです。

難病奇病にも対応

— がん以外の治療にも有効なようですが? —

前田 人間の一生で健康を阻む因子が二つあり、1が体内から発するがん、2は体外から侵入する昆虫類のウイルスです。2は、単数または複数のウイルスが難病奇病の原因となっており、がんと一緒にあれば難病奇病となり、2年前から、これらのウイルスを駆除することで、難病奇病や難治性がんを治療したあと症状が改善し、がんの治療期間も短縮されています。がん治療率 ※2 も2014年に発表された73.9%を更新しています。

最後に一言お願いします。

前田 がんや難病にからまないようにするには、がんを広範囲に把握できる共鳴反応で年一回の健診を受け、早期にがんの本体や昆虫類ウイルスを消してしまいうことが大切です。共鳴反応による健診が可能な施設については、『癌活性消滅療法学会』のホームページで「」ご確認ください。

<http://ceat.or.jp>

アドバンス・クリニック横浜
<http://advance-clinic.com/>
(完全予約制)
診療 9:30~12:00 / 13:30~17:00 休診日 土・日・祝日
※学会により休診日あり 料 金 ◆初診料 32,400円、再診料 10,800円(自由診療) 所在地 ◆神奈川県横浜市西区北幸1-2-10 アスカ2ビル8F アクセス ◆JR横浜駅西口徒歩3分、車:横浜西口ランプ約8分、羽田空港から首都高速で約30分、第三京浜玉川ICから三ツ沢IC経由約30分、首都高速横浜町田IC約30分 電話 ◆045-328-4166
アドバンス・クリニック横浜 検索

※1. 2002年~2016年末で、合計6,156人。
※2. 現代医療では、5年生存率が治療率と同義に扱われているが、同院の場合、完全治癒を意味する。進行がん、末期がんでも治癒率は50%以上となっている。

